

2023年5月16日  
上海

**第32回アジア船主協会総会 プレスリリース**  
**Asia, Greener / Safer Shipping**  
**(より環境に優しく、より安全な海運を目指すアジア)**  
**〈日本船主協会事務局試訳〉**

アジア船主協会(ASA)は、2023年5月16日に第32回年次総会を中国船協主催の下上海で開催し、賛助会員含め230名以上が参加した。本会合は、“より環境に優しく、より安全な海運を目指すアジア”をテーマに開催され、海運業界、船主コミュニティーが直面する海上安全、海上労働力確保、脱炭素化を含む様々な課題に焦点が置かれた。

**船員は公平に扱われるべきである**

ASAは「船員に対する不当な扱いには、様々な形態や理由があるが、船員の心身の健康に深刻な影響を与え、海運業界のイメージや有能な船員の確保に悪影響を及ぼしている」と述べた。船員に対する不当な扱いは、船員が海上犯罪の容疑で拘留された場合に生じることがある。現在進行中の例として、ユー・イーハイ船長がホンジュラスで裁判を受けずに長期に亘り拘束されている。これは関連する国際条約で定められた、できるだけ迅速な裁判の実施や拘留者を保釈するという原則に反している。ASAは国際労働機関(ILO)/国際海事機関(IMO)が共同で、海上犯罪の疑いで拘束された船員の公正な扱いに関するガイドラインを作成したことに注目し、ガイドラインの早期採択を歓迎するとともに、特にホンジュラス政府に対し、MLC2006と国連海洋法条約(UNCLOS)1982に含まれる船員の公正な扱いに関する規定に従って、ユー・イーハイ船長のケースが公正かつ迅速に扱われるように強く要請する。

**約20年に及ぶ議論の末、国連が歴史的な海洋生物多様性条約を締結**

2023年3月3日、第5回国連政府間会合において新たな海洋生物多様性条約の条文が十分に合意された。ASAは約200カ国が約20年に渡る議論継続の末に得られた歴史的成果を心から歓迎する。海運業界は海運の国際的な規制機関であるIMOの役割を各国が理解すべく、2016年から積極的に議論へ参加してきた。ASAは、本条約が国際海運業界の懸念およびIMOの中心的な役割を認識した上で、新条約によって公海上で活動する産業が規制される合意を歓迎する。本合意は国連機関や他の国際的な規制当局間の連携を強化し、国家の管轄を超えた海域における海洋生物多様性と生態系の保護に対する包括的な取組みを促進することになるだろう。

**増加する武装強盗の報告件数の増加を受けて政府が行動を起こすことを要請**

2023年5月2日、シンガポールで開催された第40回ASA航行安全・環境委員会(SNEC)中間会合において、航行安全実現の確保および、温室効果ガス(GHG)排出削減への取り組みに関し、緊急かつ重要性が強調された。SNECは2023年第一四半期においてマラッカ・シンガポール海峡で武装強盗および海賊事案に関する報告が急増していることへの懸念を示した。SNECはインドネシア、マレーシア、シンガポールの沿岸3カ国政府に対し、直ちに警備を強化し、海賊問題に処する厳格な措置の実施を求めた。このような対抗措置は当海峡を安全に通過し、錨泊し、或いは海峡内で輸送に従事する船舶に欠かせない。ギニア湾での海上保安への取り組みに加え、SNECは航行安全、環境対策への

圧力および海事産業における二酸化炭素削減の手段である世界的な GHG 削減対策規制その他の差し迫った案件について協議をした。SNEC 議長である Caroline Yang 氏は ASA の長年の立場は GHG 排出に関し、一貫し予測可能な枠組みの策定を支持することにあると繰り返した。これは全ての海運界において船舶が（沿岸国の）管轄の異なる海域を航行する際に、統一基準に準拠でき、業界における過剰な管理負担や混乱の回避につながる。海洋環境の保護と海運の持続可能な未来の確保には航行安全と GHG 排出との闘いの双方において、迅速かつ果敢な行動が緊急に求められている。

### **グローバルサプライチェーンの安定性への影響**

ASA はパナマ・スエズ両運河が 2023 年 1 月に十分な透明性を欠いた通航料金の大幅な値上げを行い、グローバルサプライチェーンの安定性に悪影響を与えたことに懸念を表明した。このような状況の下、両運河庁に対しては定期対話において脱炭素化への移行や代替燃料の安定供給といったトピックを取り上げ、通航料金問題を含む安定的な運河運営のみならず、安全・円滑な運河通峡の確保を求め続けることが重要となる。ASA は国際団体を含むステークホルダーとともに共通課題についてより効果的に対処すべく調和のとれたアプローチを取る上で、相互理解を深めることが不可欠であることに合意した。他方、5 月 2 日に初めて開催された ASA SPC と SNEC の合同セッションが有意義であったことから、船舶の脱炭素化や次世代船を操船する若い人材のトレーニングといった課題を取り扱うため、ASA 常設委員会間の更なる協働を模索することで合意した。

### **香港条約**

今後数年間に亘り解撤需要の急増が見込まれるなか、ASA は香港条約の早期発効および環境適合型解撤の受け皿を複数国にて拡大することの重要性を再確認した。このためには、条約発効要件を踏まえれば、2023 年が特に重要な一年になるとの認識で一致した。早期発効に向けてはバングラデシュおよび中国が鍵を握っており、本年はとりわけバングラデシュの最早の批准を確実なものにするため、取り組みを集中させることを確認した。ASA メンバー船協は、夫々関係する政府に対し、バングラデシュに最大限の支援を行うことを促す点を確認し、各会員船社に対しては、SOC ヤード/SOC 認証取得を目指すヤードの優先使用を引き続き推奨する。ASA は今後もこれらの方針につき内外に向け声を上げ、対外発信を強化することとしている。

第 32 回 ASA 総会において、香港船主協会 会長の Wellington Koo 氏が第 33 代 ASA 会長に、アセアン船主協会連合会長の Haji Awang 氏が副会長に夫々選任された。次回総会は 2024 年 5 月に香港で開催予定。

中国船主協会副会長の Zhang Shouguo 氏（中国船主協会会長 Xu Lirong 氏代理）は総会の結果を踏まえ、2023 年の ASA の取り組みとして以下の通り採択されたことを公表するとともに、アジアの海運業の健全な発展を呼びかけた。

### **2023 年の ASA の取り組み**

海運は世界中の物資輸送を支える世界貿易・経済の屋台骨である。国際海運会議所（ICS）によれば、外航海運は約 90% の国際貨物の輸送を担っている。海運無くして今日の国際貿易は成り立たない。同時に、海運は世界で 150 万人以上もの雇用を提供している。

海運は経済成長および雇用創出への貢献に加え、世界の生活水準向上に寄与している。海運は貨物輸送の促進を通じ、人々が生活し、また繁栄するために必要な製品や資源へのアクセスを助けると同時に、貿易・商業の便益はより広範囲に及んでいる。

しかしながら、外航海運業界に対しては、世界の商船が排出する大気汚染物質を削減し、将来的なカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを求める圧力が益々高まっている。環境対応への必要性に鑑み、IMO は外航海運からの温室効果ガス排出量を 2050 年までに 50%削減する目標を設定し、また、EU はより厳格かつ一方的な規制を行っている。これらは外航海運業界にとって極めて困難な挑戦である。

海賊・武装強盗行為は現在もハイリスクエリア内の海域を航行または港湾に停泊する船舶・船員にとって脅威であり、ロシアとウクライナの武力衝突は一部船員の安全・安心に大きな影響をもたらしている。そして、STCW 条約資格要件適合船員の不足が近い将来予想される。スマートシップは海運業界の安全、競争力そして持続可能性の向上に寄与するが、同時にほぼすべての面で課題ももたらすこととなる。

ASA は世界商船隊の約 50%の船腹量を支配・運航する重要な組織であり、上述の課題についてすでに影響を受けている（または将来的に影響を受けることとなる）。アジアの海運業の健全な発展を維持すべく、アジア船主は世界のステークホルダーとの間で協調して対応しなければならない。この点から ASA は海運業界の全ステークホルダーに対し、以下のことを求めていく。

1. 温室効果ガス排出量削減策については一方的な政策ではなく IMO における多国間交渉によるものを支持すること。
2. 海賊・武装強盗への対処および国際運河の通峡効率・サービスレベルの向上を通じ、外航海運回廊の安全性・安定性に協調して取り組むこと。
3. 将来的に不足が予見される高度な技能を有する船員の育成により注目していくこと。
4. 国際的紛争がもたらす海運への影響の低減を図ること。

海運業界のステークホルダー間の連携のみが目前の課題への対応を可能にし、国際貿易を支える海運業の比類の無い重要な役割を引き続き果たすことが可能となる。

**【本プレスリリースの問合せ先】**

ASA 事務局 Technical Manager Dylan Ow

電話 : +65 6325 4737

Email : [information@asa.org.sg](mailto:information@asa.org.sg) / Website : [www.asianshipowners.org](http://www.asianshipowners.org)

**【ASA について】**

- ・アジア船主協会(ASA)は、豪州、中国、台湾、香港、日本、韓国の船主協会およびアセアン諸国\*の船主組織によって構成されるアセアン船主協会連合(FASA)を正会員として構成される組織で、その目的は、アジア船主業界の利益促進。
  - \*ブルネイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、タイ、ベトナム
- ・当該年次総会以降、次の年次総会までの間は、以下 5 つの常設委員会により継続的活動が行われている。
  - 船員委員会 (SC : Seafarers Committee)
  - 船舶保険・法務委員会 (SILC : Ship Insurance and Liability Committee)
  - 航行安全・環境委員会 (SNEC : Safe Navigation and Environment Committee)
  - 海運政策委員会 (SPC : Shipping Policy Committee)
  - シップリサイクリング委員会 (SRC : Ship Recycling Committee)
- ・ASA 加盟船主および運航業者は、世界商船船腹の約 50%を支配・運航していると推定される。





●ASA 第 32 回年次総会（上海）出席者集合写真



●ASA 第 32 回年次総会会合風景

16 May 2023  
Shanghai

## ***Press Release***

### ***32nd ASA AGM 16 May 2023***

***Hosted by China Shipowners' Association (CSA)  
Shanghai, China***

## ***"Asia, Greener / Safer Shipping"***

Asian Shipowners' Association (ASA) held its 32nd Annual General Meeting on 16 May 2023 in Shanghai. The meeting was hosted by the China Shipowners' Association (CSA) and attended by more than 230 representatives from ASA Ordinary/Associate members. The theme of the meeting was "Asia, Greener / Safer Shipping" and the focus of the meeting was on many aspects of the challenges and constraints including safety at sea, manpower at sea and decarbonisation at sea.

### **Seafarers should be fairly treated**

ASA said that unfair treatment of seafarers, which can take many forms and be for many reasons, has a severe impact on seafarers' physical and mental well-being and a damaging effect on the image of the shipping industry and its ability to attract and retain qualified seafarers. Unfair treatment of seafarers often takes place when seafarers are detained on suspicion of committing maritime crimes. An on-going example is Captain Yu Yihai's prolonged imprisonment without trial in Honduras, which is contrary to the principles of conducting trials as expeditiously as possible or releasing the detained person on bail as laid down in relevant international treaties. ASA has noted the joint efforts of ILO/IMO to develop dedicated guidelines on the fair treatment of seafarers detained on suspicion of committing maritime crimes, and welcomes the early adoption of the guidelines and, in particular, urges the Honduran administration to have Captain Yu Yihai's case to be handled fairly and expeditiously in accordance with the provisions on fair treatment of seafarers, contained in MLC 2006 and the UN Convention on the Law of the Sea (UNCLOS) 1982.

### **After nearly 20 years of effort, the United Nations concludes historic maritime biodiversity Treaty**

On March 3rd, 2023, the 5th United Nations Intergovernmental Conference finally reached an agreement on the text for a major new maritime biodiversity treaty. ASA heartily welcomes this historic achievement: nearly 200 nation-states took part in discussions which spanned nearly two decades. The shipping industry has taken an active part in the discussions since 2016 to ensure that the nation-states understand the role of the International Maritime Organization (IMO) as the global regulator for shipping. ASA is thus pleased that an agreement has been reached that High Seas industries will be regulated through this new treaty with the treaty recognizing international shipping's concerns and the central role of IMO. The agreement should also enhance coordination between UN agencies and other global regulators, promoting a holistic approach to the protection of marine biodiversity and ecosystems in maritime areas beyond national jurisdictions.

## **Governments urged to take action in the face of increasing reports of armed robbery**

During the recent 40th Interim Meeting of the ASA Safe Navigation & Environment Committee (SNEC) held in Singapore on 2 May 2023, the urgency and significance of ensuring safe navigation and addressing the reduction of greenhouse gas (GHG) emissions were strongly emphasized. ASA expressed its concerns regarding the escalating number of reported incidents of piracy and armed robberies in the Straits of Malacca and Singapore during the first quarter of 2023. ASA urged immediate action and called upon the three littoral governments of Indonesia, Malaysia and Singapore to intensify their patrols and enforce stringent measures to combat piracy and armed robberies. Such intervention is necessary to safeguard the safe passage of ships transiting, anchoring, or engaging in trade within the Straits. In addition to addressing maritime security in the Gulf of Guinea, ASA deliberated on other pressing matters pertaining to safe navigation, environmental pressure, and a global approach towards regulating GHG reduction measures to decarbonise the shipping industry. Ms. Caroline Yang, Chair of ASA SNEC, reiterated that ASA's longstanding position is to support a consistent and predictable framework for regulating GHG emissions. This ensures that all shipping sectors can comply with uniform standards as they navigate through different jurisdictions, avoiding excessive administrative burdens and confusion within the industry. The urgency to act swiftly and decisively in both safe navigation and combatting GHG emissions is paramount in safeguarding the marine environment and securing a sustainable future for the shipping industry.

## **Impacts on the Stability of the Global Supply Chain**

ASA expressed its concern over adverse impacts on the stability of the global supply chain due to drastic increases in the tolls of the Panama and Suez Canals, effective in January 2023, without ensuring enough transparency. Under such circumstances, it is necessary to continue to urge both canals to ensure safe and smooth transits of vessels as well as stable management, including tolls, through regular dialogues covering such topics as green transits and stable supplies of alternative fuels. ASA therefore agreed that it was essential to deepen mutual understanding among stakeholders, including international associations, for taking any harmonised approach to address common issues more effectively. In the meantime, in light of the fruitful outcomes from the first trial of the joint session between ASA SPC and ASA SNEC on 2nd May, ASA agreed to explore any further collaboration among the five standing committees to take up such issues as shipping decarbonisation and training for young talents to meet the requirements for next-generation vessels.

## **The Hong Kong Convention (HKC)**

ASA reaffirmed the need for the early entry into force of the HKC as well as for the urgent expansion of Green Yards in multiple countries to respond to an expected surge of ship recycling demand in the coming years. For these sakes, the recognition that the year 2023 should especially be crucial was shared by ASA, in accordance with the treaty requirements. In order to achieve the goal, ASA confirmed that Bangladesh and China have been holding the key and that ASA should concentrate our primary effort on securing the earliest ratification by Bangladesh. It was then affirmed that every ASA member association would encourage concerned governments to support Bangladesh in every aspect wherever possible. ASA would also encourage respective member shipping companies of ASA members to use HKC SoC (Statements of Compliance) yards and those aiming to acquire certification. ASA would continue to speak out on our arguments.

At the 32nd ASA AGM, Mr Wellington Koo, Chairman of The Hong Kong Shipowners Association (HKSOA) was appointed as the 33rd ASA Chairman.

Mr Haji Awang, Chairman of the Federation of ASEAN Shipowners' Associations (FASA) was also appointed as the Vice-Chairman of ASA.

The next ASA AGM will be held in Hong Kong in May 2024

Based on the outcome of the meeting, Mr Zhang Shouguo, CSA Executive Vice Chairman, on behalf of Mr Xu Lirong, ASA Chairman, announced the adoption at the meeting of the following **ASA Initiative 2023**, calling for the healthy development of the Asian shipping industry.

### **ASA Initiative 2023**

*The shipping industry is the backbone of global trade and the global economy, facilitating the movement of goods and commodities around the world. According to the International Chamber of Shipping (ICS), the international maritime transportation industry is responsible for the transportation of around 90% of commodities produced from world trade activities. Without shipping, international trade as we know it today would not be possible. The shipping industry also directly provides over 1.5 million jobs worldwide.*

*In addition to economic growth and job creation, shipping also has a positive impact on the standard of living around the world. By facilitating the movement of goods and commodities, shipping helps to ensure that people have access to the products and resources they need to live and thrive, as well as the benefits of trade and commerce are more evenly spread.*

*However, the global shipping industry is facing increasing pressure to cut the pollution created by the world's merchant fleet and to engineer a carbon-neutral shipping industry in future. Recognizing the need for climate action, the International Maritime Organization (IMO) has mandated emission reductions of 50% for all vessels by 2050, while the European Union (EU) is taking stricter unilateral measures. This is a tremendous challenge to the shipping industry.*

*Today, piracy and armed robbery continue to pose a threat to ships and seafarers in high-risk waters and ports. The military conflict between Russia and Ukraine is having a significant impact on the safety and security of some seafarers. A shortage of STCW certified officers has been predicted in the near future. While the introduction of smart ships will make the shipping industry safer, more competitive and sustainable, it will also bring about challenges to the shipping industry in almost all aspects.*

*As an important global shipping organization controlling and operating around 50% of the world's cargo carrying fleet, ASA is and will be impacted by those challenges. In order to maintain a healthy development of the shipping industry in Asia, Asian shipowners and other stakeholders in the world must take coordinated measures.*

*In this context, ASA calls on all the stakeholders in the shipping industry to:*

- 1. support the emission reduction measures negotiated multilaterally in the IMO instead of any unilateral policies on the shipping industry;*

2. *work together to maintain the security and stability of the international shipping corridors by combating piracy and armed robbery and improving the transit efficiency and service level of the international canals;*
3. *pay more attention to the development of high-quality seafarers to cope with the predicted shortage in the foreseeable future; and*
4. *take measures to reduce the impact of international conflicts on maritime transport.*

*Only by concerted actions taken by stakeholders of the shipping industry, can we cope with the challenges ahead and continue to play a vital role in ensuring the operation of international trade as ever before.*

\*\*\*\*\*

***For media enquiries, kindly contact:***

***Dylan Ow***

***Technical Manager***

***Asian Shipowners' Association (ASA)***

***Tel : (+65) 6325 4737***

***Email : [information@asa.org.sg](mailto:information@asa.org.sg)***

***Website : [www.asianshipowners.org](http://www.asianshipowners.org)***

***Editor's Note:***

*The Asian Shipowners' Association (ASA) is a voluntary organization of the shipowner associations of Australia, China, Chinese Taipei, Hong Kong, Japan, Korea and the Federation of ASEAN Shipowners' Associations comprising shipping associations of ASEAN countries.*

*The aims of the ASA are to promote the interests of Asian shipowners.*

*Between annual ASA meetings, the ongoing work is carried out by five Standing Committees:*

*Seafarers Committee (SC)*

*Ship Insurance and Liability Committee (SILC)*

*Safe Navigation and Environment Committee (SNEC)*

*Shipping Policy Committee (SPC)*

*Ship Recycling Committee (SRC).*

*It has been estimated that ASA shipowners and managers control and operate around 50% of the world's cargo carrying fleet.*

-----